

コース5の見どころ“スポット”紹介

① 新川崎・創造のもり そうぞう 最先端の研究を行う科学技術拠点



旧国鉄の操車場跡地に、産学公民の連携によって生まれた「新川崎・創造のもり」は、21世紀を支える新しい科学技術や産業を創造する研究開発の場であり、また次世代を担う子どもたちが科学・技術への夢を育む場づくりをめざして開発された施設群です。

次代の技術が詰まっています

みどころ 毎年秋頃に行われる「科学とあそぶ幸せな一日」は、児童を対象に多くの企業や施設、大学がブースを出す“科学のお祭り”です。

慶應義塾大学新川崎K²タウンキャンパス

最先端の産官学共同研究を行う目的で、平成12年春に開設されました。ここでは高性能電気自動車「Eliica（エリーカ）」など数々の先端技術が研究され、生み出されています。

KBIC（かわさき新産業創造センター）

起業を目指す人やベンチャー企業、大学の研究機関などへ貸室を提供するとともに、さまざまな支援を行う施設です。

NANOBIIC（ナノ・マイクロ産学官共同研究施設）

KBICの新館として作られた、超微細技術（ナノ・マイクロテクノロジー）を核とした先端研究拠点で、研究棟とクリーンルーム棟があります。

② さいわいふるさと公園 さいわい 都会に残る自然感じる里山



多くの子どもで賑わう

「新川崎・創造のもり」の一角をなす緑豊かな公園。「さいわい夢ひろば」、「小倉わんぱく広場」、さまざまな球技を行える「多目的広場」などがあります。

「さいわい夢ひろば」は約6,000㎡の敷地に雑木林、池、小山があり、心安らぐ自然なイメージが保たれた広場です。

「小倉わんぱく広場」は、子どもたちが自然の中で思いきり遊べる場所を目指した広場です。小山や、土管の置いてある広場など、人気の場所です。

③ 杉山大神 うしがみ 小倉地区の氏神様



地域の氏神様として鎮座

飛鳥時代、大化の改新によって国郡制度が敷かれた頃に祀られ、当時、皇室の直轄領であった小倉村の守護神として敬われてきました。現在も小倉地区の氏神様として、住民に親しまれています。

みどころ 境内には川崎市の保存樹木として指定されている「クスノキ」があります。この巨木は遠くからも眺められ神社のシンボルとなっています。

④ 加瀬山 かせ 多くの自然が残る市民いこいの森



川崎中から市民が訪れます

面積約6.3ha、標高約35mの小高い丘で、幸区の“市民健康の森”に指定されています。自然林が多く残り、各地域のイベントが年中行われる市民いこいの場です。東側の「慰霊塔前広場」には明治時代以降の戦没者のための慰霊塔があります。中央部には約60種の動物がいる、子どもたちに大人気の「夢見ヶ崎動物公園」があり、無料解放されています。特に春と秋の動物園まつりでは、動物とのふれあいや、さまざまなイベントがあり、大勢の子ども連れでにぎわいます。

動物公園の名称にも使われている「夢見ヶ崎」という地名は、かつて太田道灌がこの地に江戸城を築こうとした時に夢を見て、それによって築く場所を変えたという逸話が由来になっています。

また加瀬山は古くから人が住んでいた場所で、貝塚や古代の住居跡が発掘されているほか、白山古墳、西側の加瀬7号古墳など9基の古墳も見つかっています。

みどころ 児童向け遊具を備えた公園の、最西端部の一角からは、遠くに新宿や六本木などのビル群を望むことができるほか、富士山を望むことのできる富士見デッキもあります。



コース5

これも

オススメ!

一昨年生まれたカリンちゃんに加え、平成25年7月、シセンレッサーパンダの父ファファと母アンの間に新たな赤ちゃんが誕生！おちゃめで愛くるしい姿をぜひ見に来てください。（一般公開は1月頃）

